

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－29

学校名・団体名	田村市立芦沢小学校
HPアドレス	http://www.tamura.gr.fks.ed.jp/?page_id=67
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	福島を守ろう ～食育・生産活動を通じた放射線教育～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>2011年に発生した東日本大震災・福島第1原子力発電所事故を経験し、福島県では、常に放射線を意識した生活を強いられている。福島で生まれ、福島で育つ子どもたちにとって、希望を持って生きていくためには自分たちの住む福島で起こったことや放射線に関する知識を正しく理解して、自ら判断する力を身につけることが必要である。正しい知識を持って郷土を愛しつつ強く生きていく子どもたちを育成するためには、子どもたちにとって身近である「食」と郷土の産業である「農業」体験を通じた「放射線教育」の充実を図ることが必要であることから本学習を計画した。</p>	

本校では、今年度、体験な学習の充実に重点をおき、学校教育全体でさまざまな体験活動を実施した。その中でも、本計画の栽培活動は、地域の主産業であることから、地域住民も保護者も子どもたちが体験することによって「地域を知り、地域で生きる大人の思いを知る」ことができると期待を寄せていた。

低学年から系統的に体験活動を取り入れた授業を展開した。さらにそれに関連して、モニタリングという避けては通れない問題にも学年の発達段階に応じて正面から向き合わせた。これらの経験をもとに、子どもたち一人一人が放射線への正しい知識と共に、福島に生きることに「夢や希望」をもち、放射線からさらに科学への興味関心が高まるように子ども気づきや思考の流れを重視した学習を展開するために、次の3つの点に重点を置いた。○科学的発展的な放射線教育の側面 ○栽培活動を通した「食」に関する学習 ○地域の方々から教を請うことで交流を図る体験活動

**4月：土作り、苗植え、田植え
5月：地域の方を講師に招いて、継続的な作物の世話**



1年間お世話になる畑の先生との出会い



苗を植える際に気をつけることを教えていただく。



泥んこにないながら、心こめて田植え作業

地域の農業従事者である方々を「田んぼの先生」「畑の先生」としてお招きし、年間を通してご指導いただいた。子どもたちは、講師の先生方との交流を通して、自分たちが普段何気なく口にしている野菜等の食べ物を育てるには、土づくりから収穫までの間に本当にたくさんの工夫と努力があることを体験を通して学ぶことができた。また、これらの活動を通して感じたことや気づき、疑問を総合的な学習の時間や道徳・学級活動等でさらに深化・統合することで、自分たちの郷土福島で農業を守るために懸命に働いている地域の方々の思いにも学習を広げることができた。



毎日のお世話も忘れずにやりました

6月：栄養師等や外部講師を招いて、栽培活動と「食」についてのTT授業

日常の「食」の大切さを学び、子どもたちは、今、自分たちが取り組んでいる栽培活動と「食」との関連づけながら学ぶことができた。また、食と自分の身体や健康との関連だけでなく、それらの食べ物を生産する農業への関心を高めることができた。



外部講師の先生による食育の授業

7月：収穫の準備及びモニタリングの知識を学習



モニタリング調査に向けて収穫した野菜を細かく切り刻む

収穫した野菜をモニタリング調査に出すために、細かく切り刻んだものを500g用意した。この活動の前に「モニタリング調査」の意味や方法等について知るとともに、自分たちが口にする食べ物の安全安心のためにどのような取り組みがなされているのかについて学ぶことができた。

9月：東京都市大学 岡田往子先生を招いての「理科実験教室」

東京都市大学岡田先生はじめ大学院生による理科実験教室が実施された。平成25年度から継続的に指導をお願いしている。子どもたちの科学への興味関心は高まり、郷土福島の未来を切り開く子どもたちの育成につながっている。



岡田先生のお話を真剣な表情で聞く子どもたち



Myプラネタリウム作りに挑戦！

10月：収穫 地域の方々を招待して収穫祭



稲刈り作業にもチャレンジ！

ブランド名「あしっこ米誕生」



お世話になった地域の方をお招きして、幼稚園生も含む全員で収穫祭を開催



全校生が栽培した野菜が入ったあしっこカレー！もちろん「あしっこ米」も入ってます。

本校ホームページの記事より



本校では、体験活動を通してふるさと「あしざわ」を愛する心の育成を目的に「あしざわファーム」や「あしざわ学校田」での栽培活動等に取り組んできました。今日は収穫した野菜やお米を使って全校生でカレー作りに挑戦！調理も各学年事に役割を分担してがんばりました。そしてついに、あしっこパワーいっぱいのカレーとごはんができました。この収穫祭には、これまでご指導、ご協力いただいた地域の皆様を招待して一緒に食べていただきました。「うわぁ、おいしい！」「このごはん、あまーい！」と、何杯もおかわりする子どもがたくさんいました。笑顔いっぱいの収穫祭となりました。

11月：学習した内容を「学習発表会」で地域や保護者に発信

本校の学習発表会「あしざわキッズフェスタ」の中で、4・5年生は「福島を守ろう！～放射線の研究を通して～」と題して、これまでの学習した成果を地域や保護者の方を前に発表した。子どもたちは、放射線や科学、そして、福島の実状に関して学んだことをわかりやすく発信した。さらに、子どもたちから福島の実状に向けての力強いメッセージもあり、会場は感動の拍手に包まれた。子どもたちは、これまでの学習を通して、さまざまな問題に直面したり、自分で判断し、行動できる人間に育ってくると確信できた発表会となった。



12月～3月：個の学びの軌跡をまとめるとともに、関連教科への発展学習

2月、食育体験学習を実施した。子どもたちは地域の方々の協力を得ながら手打ちうどん・けんちん汁・まんじゅう作りを体験した。材料は全て地元あるいは県内産にこだわり、地元の食文化のすばらしさとともにふるさとの良さを実感することができた。

子どもたちは、こうした体験学習等を通して学んだことをポートフォリオ方式でファイルにまとめた。社会科の食料生産（農業）の学習とも関連を図りながら学びを深化することで、これからの生き方について考えることにつながることができた。

本校では、今年度の成果を生かして、さらに子どもたち一人一人がふるさとに誇りをもち、郷土愛をもって生きぬく力を身につけさせるための指導を推進していきたい

